

# 橋本市 家庭教育支援チーム ヘスティア

Home Education Support Team



わたしたちヘスティアは いろいろなつながりを大事にして  
みなさんとともに子育てを楽しみたい 時には考えたい  
そんな気持ちで活動しています

# 橋本市



マスコットキャラクターの「はしぼう」橋本市特産の柿とへらざおがデザインされています。橋本の柿はへん平で角ばっており、種はありません。果肉がやわらかく、甘くてジューシーです。

橋本市は、和歌山県の北東端に位置しています。市内には、大阪・難波へとつながる南海高野線、和歌山市とつながるJR和歌山線、奈良・京都方面と連絡する京奈和自動車道など、関西各地への良好なアクセスを有しています。そのため、通勤や通学に便利なまちとなっています。また、自然が豊かな土地でもあり、近隣に高野山があります。高野山ゆかりの精進野菜や温泉などを楽しむこともできます。都市部に隣接しながらも、大自然の中で自分らしいライフスタイルを確立できる本市は、田舎と都会が両立する、とても暮らしやすいまちです。

人口 約58,500人 (2025年3月時点)  
 認定こども園 (私立保育園含む) 14園  
 市立小学校 14校 市立中学校 5校  
 児童発達支援事業所 1園 児童発達支援センター 1園  
 (2025年4月1日時点)

## 都市構造図



## 人輝き あたたかさ湧きでる

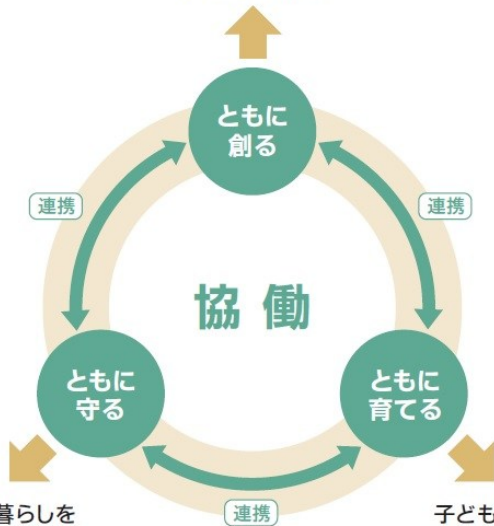
将来像

みんなで創造する元気なまち 橋本

まちの将来像の実現に向けた取り組みを進めていくために3つの基本目標を設定します。また、人口6万人の維持を達成することを目的として、重点プロジェクトを設定しています。3つの基本目標に基づいた施策は重点プロジェクトを横断的に実行され、推進しています。

### 基本目標

産業の振興と雇用を創出し  
定住できるまち



安全・安心な暮らしを  
守り支えるまち

子どもから高齢者まで  
ともに育み学び合うまち

### 重点プロジェクトと基本目標の関係性

プロジェクト1	プロジェクト2	プロジェクト3
まち全体で 子どもを育む	まちの魅力を みがき伝える	住み続けられる まちをつくる
ともに創る		
ともに守る		
ともに育てる		

### 事業・施設

- ▶ 子育て応援課
- ▶ 保健師・助産師
- ▶ 発達相談員・園/学校の教職員
- ▶ 民生委員児童委員
- ▶ 母子保健推進員
- ▶ 家庭児童相談員
- ▶ 地区公民館 こども館・児童館
- ▶ 子育て支援センター
- ▶ 子育てサークル
- ▶ 共育コミュニティ
- ▶ 放課後ふれあいルーム
- ▶ 家庭教育支援チーム など

### ■ 出産・子育て環境

子育て応援課 (ハートブリッジ) を核とした、妊娠期から将来を見通した支援体制が構築されており、早期から支援と安心して子育てできる環境が実現しています。適切な支援を受けられるよう子育てに関連する事業や施設などが相互に連携し、事業を進めています。

# ヘスティア

橋本市家庭教育支援チーム「ヘスティア」は地域と行政がともに子育ての支援を行うことを目的として、2008年から活動を始めました。橋本市の基本目標、重点プロジェクトの実現に向けた役割の一端を担っています。

## 活動の目的

### 笑顔の子育て応援

- 子どもが自立した大人に成長できるように
- 保護者が子育ての不安や悩みをかかえたまま孤立することがないように
- 地域ぐるみの子育てができるように

## 名前の由来

家庭教育支援チームの Home Education Support Team 頭文字をとって「ヘスティア」としました。

ヘスティアはギリシャ神話の「かまどの女神」の名前でもあります。古代ギリシャでは、かまどは家の中心だったことから、家庭生活の守護神として大切にされていました。

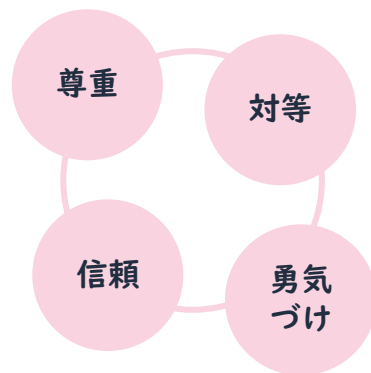
## メンバー

39人（2025年4月時点）

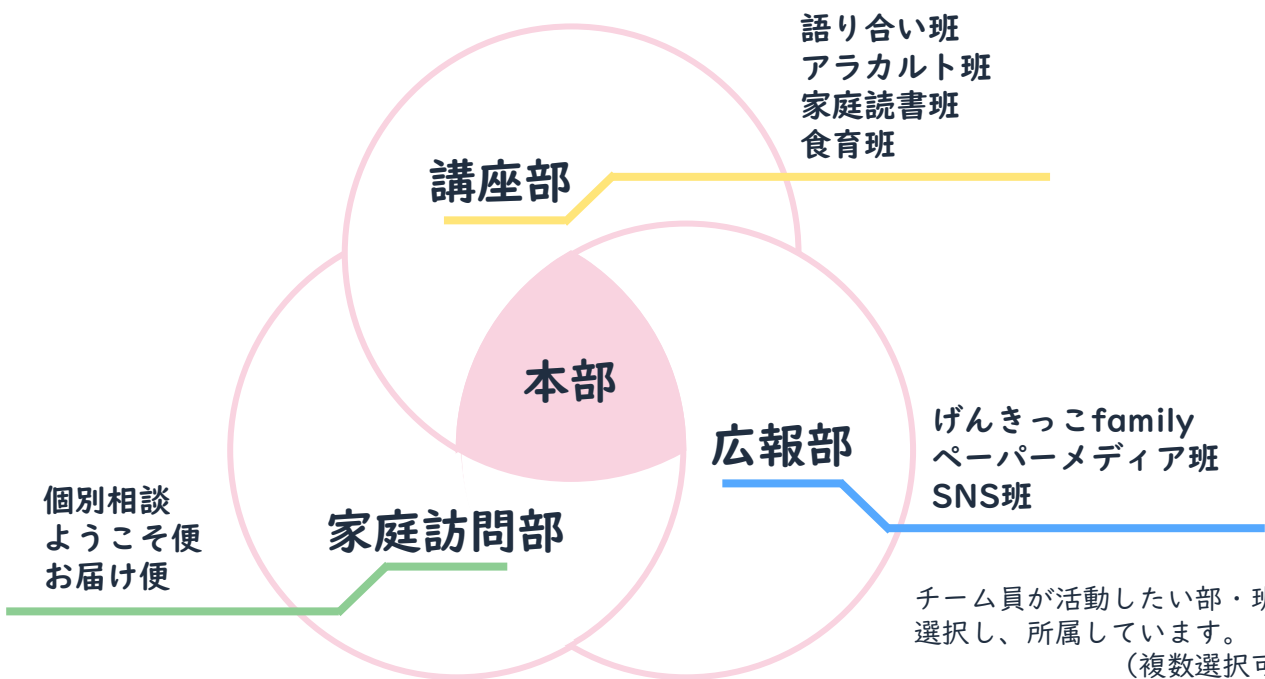
- 母子保健推進員 ■ 民生委員児童委員 ■ 元教員
- PTA役員 ■ 元保育士 ■ 栄養士 ■ 市民活動団体員
- 絵本専門士 ■ 支援者養成講座修了者

など

## チームワークの維持



## 組織



# 講座部

多様な時間と場を提供し、**人と人との出会いの機会**を作る

## 語り合い班

楽しく子育てするために語り合う場を作る

### 就学時 ワークショップ

小学校から依頼を受けて、就学時健診の時に、保護者対象の講座をしています。就学に対する不安や悩みを軽減してもらうと同時に、保護者同士、保護者と学校、地域がつながることを目的にしています。



みんな輪になって



グループワーク



アイス  
ブレイキング

### 語り合い ワークショップ

園や学校、親子サークルから依頼を受けて、保護者懇談会をしています。話して共感し合うことで気持ちが楽になり、情報交換をし、保護者同士のつながりができる場になっています。他の地方公共団体からの依頼で出前講座をすることもあります。



### 子育て ワークショップ

子どもの成長段階別に年3回開催しています。みんなで語り合い、情報交換をします。視野が広がって気持ちが楽になったり、それぞれの学びや気づきを得てもらえる参加型講座です。



- ▶ 子育てのイライラを減らす魔法(乳幼児期)
- ▶ 主体性を育む ~褒める叱るを考える~ (学童期)
- ▶ 思春期の子どもへの関わり方(思春期) など

## アラカルト班

楽しみながら、リフレッシュし、みんながつながれる場を作る

子育てに関わる全ての人を対象に、簡単なクラフトの手作り講座やリラクゼーションの講座を提供しています。参加者が楽しく語り合ったり、リフレッシュできることと、参加者同士・参加者とヘスティアがつながることを目的としています。

大人だけを対象にした講座と、大人と子どもを対象にした講座を開催しています。



スクラップ  
ブックング



クレイクラフト



ペーパー  
クラフト



ハーバリウム



アロマワックスバー



アロマジェル  
キャンドル



レジン



ポップアップ  
ドール



ぱくぱくパペット



ハンドマッサージ

## 家庭読書班

## 子育ての中に、読書や読み聞かせを位置付ける

### ブックスタート セカンドブック サードブック

4～5か月児と1歳8か月児、3歳6か月児の健診時に絵本のプレゼントと読み聞かせをしています。  
保健師の問診や医師の診察など保護者にとっては緊張する場で、絵本の読み聞かせに興味をみせる様子や子どもの笑顔に、保護者もヘスティアも一緒に心がふれあうひとときを持つことができます。プレゼントの本は家庭で活用されています。



### 家読講座

市内の小学校、園、子育てサークルで絵本の紹介や読み聞かせをしています。わらべ歌や手遊びも交えながら保護者と子どものコミュニケーションを促し、きずなを深めることを目指しています。子どもと遊ぶ・向き合うことが苦手な保護者も絵本を読み聞かせることで言葉を交わすことができ、子どもの心の安定や成長につながると考えています。子どもと共感しながら本を開く時間を楽しむことを勧めています。



### 図書館探検

図書館の継続利用・読書推進につながることを目的とした橋本市図書館との共同企画で、休館日を利用して開催しています。普段は行かない館内の隅々までを探索し、絵本にまつわるゲームをしたり、たくさんの本に触れる機会を作っています。



### 絵の本のひろば

全ての本を手作りのダンボール面展台を使って、表紙が見えるように展示します。  
絵本だけでなく、写真集や料理本、点字迷路など珍しい本や遊べる本を集めています。大人も子どもも本を自由に選び、マットの上などで楽しめます。本に囲まれた空間で同じ本に共感したり、それぞれの楽しさを見つけたりして、ゆったりと時間を過ごし、さまざまな本と触れ合うきっかけになるように企画しています。



### 絵本の紹介 リスト作り

それぞれ配布する子どもの月齢に対応したリストを作成し、配布資料として活用しています。

#### 【配布先】

- ▶ ブックスタート・セカンドブック・サードブック ▶ お届け便
- ▶ ようこそ便 ▶ げんきっこfamily など

## 食育班

## 食の楽しさ、大切さを伝える

食事やおやつメニューを考え、調理撮影し、レシピを作成しています。  
メニューは季節が感じられる旬の食材を使い、地元で採れるものや手に入りやすいものを使うことを優先に考えています。調理工程が簡単で時短につながることで、洗い物をなるべく減らすこと、そして盛り付ける際の見た目なども工夫しています。子どもと一緒に調理を楽しめるメニューも取り入れています。  
栄養士のレシピは栄養価はもちろん、彩りも大切にしています。

#### 【掲載先】

- ▶ お届け便 ▶ ようこそ便 ▶ げんきっこfamily など



豆腐グラタン



ほうれん草プレート



ハロウィン



りんごケーキ



栄養士レシピ 4

### 個別相談

### 不安や悩みを抱えた子育てに関わる人に個別に寄り添う

不安や悩みを抱える子育てに関わる全ての人を対象に、相談内容に枠を設けず対応することで、子どもの周りにいる大人が健やかでいられるよう支援します。

学校や園、子育て世代包括支援センターなどの公的機関から依頼がある場合と、個人から直接、家庭教育支援室に申し込みがある場合に対応しています。

「対等」「尊重」「勇気づけ」をキーワードに、共感しながら話を聴き一緒に考えます。

必要に応じて、情報を提供したり、他機関と連携したりします。



- ◆ 1回1時間以内
- ◆ チーム員2名対応
- ◆ 秘密厳守
- ◆ 費用負担無し

#### 【相談事例】

- ▶ 育児不安
- ▶ 不登校
- ▶ 親子、友人、夫婦関係の悩み
- ▶ DV
- ▶ 虐待
- ▶ など

### ようこそ便

### 転入者が安心して子育てできるようヘスティアの存在を知ってもらう

橋本市に転入した乳幼児がいる家庭に、時期を空けずに1回目、その2か月後に2回目の訪問をし、玄関先まで情報を届けます。(留守の場合はポストイン)

転入してしばらくの間は、情報やつながりが少なく、十分なサポートが受けられない可能性があるため、困った時に安心して相談できるヘスティアがいることを知ってもらうことを目的としています。



#### 【お届けする情報】

- ▶ ヘスティアパンフレット
- ▶ ヘスティア通信
- ▶ げんきっこfamily
- ▶ 個別相談の案内
- ▶ ブックリスト
- ▶ クッキングレシピ
- ▶ ヘスティア講座案内
- ▶ など

### お届け便

### 子育ての早い時期に安心して相談できるヘスティアがいることを知ってもらう

4~5か月児と1歳8か月児、3歳6か月児の健診の後、希望する家庭に情報を届けます。4~5か月児と1歳8か月児健診の翌月とその2か月後の2回、3歳6か月児健診の3か月後の1回、玄関先訪問をします。(留守の場合はポストイン)

子育てのなるべく早い段階でヘスティアを知ってもらうことと、孤立を防ぎつながりをつくれるよう講座や個別相談の情報を提供することを目的としています。



#### 【お届けする情報】

- ▶ おすすめ絵本リスト
- ▶ ヘスティア通信
- ▶ げんきっこfamily
- ▶ クッキングレシピ
- ▶ ヘスティア講座案内
- ▶ など

※おすすめ絵本リストは月齢に合わせた絵本を紹介しています。

### げんきっこfamily 大人も子どもも興味が持てる情報を発信する

小学生以下の子どもと保護者に向けた家庭教育情報誌です。春、夏、秋、冬の年4回発行しています。市内の小学校、園、子育てサークルに配布し、公民館、図書館などの公共施設に設置しています。橋本市のホームページからもダウンロードできます。特集ページでは子どもの興味を引く内容や保護者向けの耳寄り情報、橋本市のこと、暮らしに大切なことや役立つことなどを発信しています。



**【内容】**

- ▶ 特集 ▶ 本・絵本紹介 ▶ ヘスティア主催講座・市内イベント案内
- ▶ ごはんレシピ紹介 など

### ペーパーメディア班 ヘスティアのことを分かりやすく伝える

月1回発行のヘスティア通信では、講座の様子や今後の講座の案内を掲載しています。その他に、チラシやポスター、看板などを使って、ヘスティアの活動をより分かりやすく知らせることを目的としています。



▶ 通信



▶ パンフレット



▶ チラシ



▶ 看板



### SNS班 子育て情報や橋本市のことを速く広く発信する

SNSを活用し、市内の子育てに関するイベント、施設、事業など、さまざまな情報をタイムリーに届けるとともに、広く橋本市を知ってもらうことも目的として情報発信をしています。SNSの利活用は、リアルにつながらなくとも気軽につながれる、face to face以外での交流の場として大切にしています。SNS活用の研修を行い、チーム員のスキルアップにつなげています。



▶ ヘスティア情報



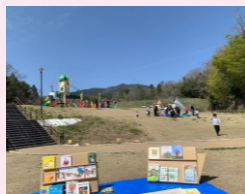
▶ 施設・事業紹介



### 地域や人とつながりながらヘスティアの存在を伝える

## イベント

誰でも気軽に参加できるイベントを公園やスーパーなどで実施しています。また、他団体との共同企画のイベントも実施しています。





2026年4月発行

橋本市 健康福祉部 家庭教育支援室  
〒648-8585 橋本市東家一丁目1番1号  
(橋本市保健福祉センター内 家庭教育支援室)  
0736-33-2129  
hestia@city.hashimoto.lg.jp



HESTIA\_HASHIMOTO